

---

**きれいなハート型のなにか。**

夕焼け

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

きれいなハート型のなにか。

### 【Zコード】

Z5146D

### 【作者名】

夕焼け

### 【あらすじ】

きれいなハート型のなにかを探してゐる。それをたくさん、たくさん探して集めて、いつかでつかい奇跡でも起こしてやる!と思つ。

きれいなハート型のなにかを探している。

ぼくは科学者じゃないから、それがどういった物質で出来てゐるのかを知らない。

ぼくは考古学者じゃないから、それがどういった成り立ちで生まれたのか知らない。

でもそれは多分結構昔からこの世界にあって、顕微鏡で見えないくらい小さい何かで出来てる。

とてもむずかしくて、とても原初的。

「夕焼けの色が本当の世界の色だつたなら、何よりも先に子供達にそのことを知らせてやうなきやならない」

そんなことを歌つてたバンドがある。

夕焼けの色が本当の世界の色だなんて、多分 $1+1$ が $2$ になるよりも確かな事実だ。

ぼくたちが子供達に教えてあげなくちゃならないのは、多分そうゆう事なんだろう。

それは教科書には載つてないし、偉い学者さんも教えてはくれない。

日中の太陽光の中では見えない何か。  
夜の暗闇の中では見えない何か。

そんなものを暴き出す夕焼けの赤。

線路を跨ぐ寂れた歩道橋があつて、そこから見渡せる街の影に夕日  
がゆつくり沈む。

多分ニユータウンだ。

ぼくはその街を知ってる。

とてもよく、知ってる。

近くの家から夕飯のシチューの匂いがして、  
木枯らしが冷たく吹いて、  
その風にのつて子供達のはしゃぐ声が聞こえる。

夕焼け。

ふと、ハートがなにかを感じる。  
ちいさななにか。

親指と人差し指の間に挟んでほんの少し力を込めれば容易く潰せち  
やうなにか。

でも、きっと核兵器なんかじゃ壊せない何か。

ぼくはそういうものを今日も探している。

今まで何個も見つけたけど、まだまだ足りない。

それをたくさんたくさん集めれば多分奇跡が起きる。

だって、世界はあらゆるものの中和で出来てるから。  
たくさんの願いが集まればきっと奇跡は起きる。

ピタゴラスの定理より簡単な理屈だ。

だからぼくはその奇跡が起こるほうにありつたけのチップを賭ける。

馬鹿みたいなゲーム。

こんな浅はかな考へで何かが変わるなら、きっと世界なんてとつへに平和になつてる。

そつはならない事情と経緯がいくつも折り重なつて現状がある。この賭けはどう考へたつて分が悪い。

よく分かつてゐる。

けど、子供じみたこの下らないゲームに人生を賭けて大損こく覚悟ならもう出来てる。

きれいなハート型のなにか。

六本木の高層ビルを買えるくらいのはした金じや買えないから、ぼくは今日も田を凝らしてそれを探す。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5146d/>

---

きれいなハート型のなにか。

2010年10月27日02時07分発行